

日本経済新聞（平成 23 年 5 月 26 日付） 掲載のお知らせ

平成 23 年 5 月 26 日付 日本経済新聞にて、(株)ダイエー様の今年度の省エネ施策について記事が掲載されました。記事中、発注先ならびに発注金額、発注製品の概要が記載されていますのでご案内いたします。

大型店蛍光灯 ダイエーが半減

ダイエーは節電対策として、大型店の蛍光灯を半分に減らす。蛍光灯2本が1つのセットになった照明器具が平均で約1000力所あるが、蛍光灯1本にしても一定の明るさを維持する反射板を備えた器具に取り換え

る。消費電力が半減し、明るさも最大4割上がるという。

約20店に実験導入したところ買い物や作業に支障がないため、今年度中に約20億円を投じて新たに約90店に導入する。既存の照明器具の明るさは

1000球だが、1400球になり、経年劣化しても1100〜1200球を確保するという。

専門メーカー、アイゼット(長野県南箕輪村)の照明器具を採用する。反射板はアルミにシリコ

ンなどを真空蒸着させた素材で光を94%反射する。この反射板を折り曲げて角度を付け、売り場に対して効率的に光が届く仕様にした。

店舗の照明器具の3分の2以上を換えれば10%以上の節電効果がある。

信濃毎日新聞（平成 23 年 5 月 31 日付） 掲載のお知らせ

平成 23 年 5 月 31 日付 信濃毎日新聞にて、弊社反射板の特性、リライトシリーズとLEDとの比較等の記事が掲載されましたのでご案内致します。

2011年（平成23年）5月31日 火曜日 経 済 6

蛍光灯 反射板の性能アップ

ビジネス交差点

アイゼット (南箕輪村)

信州経済

照明器具開発製造のアイゼット(上伊那郡南箕輪村)が、東日本大震災以降、節電を進める企業からの受注を相次いで獲得している。同社製品は反射板の性能を高め、蛍光灯の本数を減らしても照度を保てるのが特徴。7月発動の電力使用制限令で、昨年夏と比べて電力使用量の15%削減が求められる東京電力と東北電力

管内の企業などから引き合いが急増している。アイゼットによると、蛍光灯の上部に取り付ける反射板は一般的に白色塗装で反射率は約60%。同社はチタンなどを表面に加工し、反射率を95%に高めたアルミ材を使用している。設置

節電対策引き合い急増

場所の天井の高さに合わせて、本社工場で反射板を折り曲げて加工している。反射板は「リフラッシュ」の名称で1995年に発売。2007年からは蛍光灯などと組み合わせた「リライト」として販売している。リライトは、工場など

で使う水銀灯や蛍光灯の半分の消費電力で同程度の照度を確保。節電対策で注目される発光ダイオード(LED)照明と比べて、導入費用が3分の1以下に抑えられるとアピールする。震災後、問い合わせ件数は従来の5倍ほどに増える。

都内の大手建機メーカーの本社ビルに約3千台の納入が決定。6月にはレンタルビデオの全国チェーンの一部店舗にも試験的に設置する。アイゼットの12年3月期の売上高は、前期より8億円ほど多い30億円を見込む。

林邦男社長は「(電力需要がピークを迎える)夏までに対応してほしいという要望が多い。スーパーなど商業施設は消費電力の3割程度を照明が占めるので、それを半分に抑えられれば15%削減は達成できる」とする。今後、LEDと反射板を組み合わせて、さらに消費電力を抑えられる商品開発も進める方針だ。



アイゼットが受注を伸ばしている「リライト」(左)。従来の蛍光灯(右)と同じ照度で、消費電力を約45%削減できるという

本社(長野) 〒399-451 長野県上伊那郡南箕輪村 6201-1

TEL/0265-71-8822 FAX/0265-71-8800

東京営業所 〒103-000 東京都中央区東日本橋 2-1-6 東日本橋藤和ビル 2F

TEL/03-5833-8801 FAX/03-5833-8800

福岡営業所 〒812-000 福岡県福岡市博多区榎田 1-8-31 榎木ビジネススクエア

TEL/092-433-8180 FAX/092-433-8180

食料新聞（平成 23 年 6 月 6 日付）掲載のお知らせ

平成 23 年 6 月 6 日付 食料新聞にて、弊社の照明器具について取り上げた記事が掲載されましたのでご案内致します。

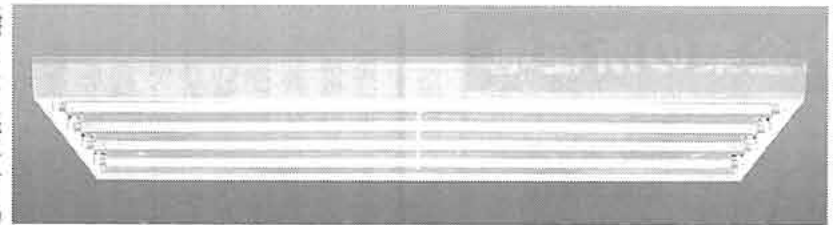
LEDに頼らない省エネ照明

アイゼット

LEDに頼らない省エネ照明がある。株式会社アイゼット



「Super RE-Light」を設置したスーパーの店内



「Super RE-Light」

ト（林邦夫代表取締役、本社 長野県上伊那郡南箕輪村）

「Super RE-Light」は「RE-Light」シリーズをグレードアップさせたもの。超高性能反射板に加え、PHILIPS社の長寿命ランプを搭載。水銀灯400Wクラスの照明器具と比較して、同照度を維持しながら50%の省エネ効果がある。また、LEDを凌ぐ45000時間のロングライフで、従来の蛍光管と比べておよそ3倍。交換に伴う施工費用や買い替え費用を削減でき、廃棄物を減らすことにもつながるため省資源化にも貢献できる。

同社は、1995年に「省エネは未来の子供たちへの贈り物」という理念を掲げ設立。「効率的な光」を提供することと、「我慢の省エネ」ではなく「快適な省エネ」を表現している。

「RE-Light」シリーズは、ドイツで開発された超高性能反射板を使用しているのが特徴だ。超高性能反射板の反射面には、チタン・シリコン等を用いたガラス状の物質がコーティングされており、可視光線の94%を全反射する。さらに、従来の蛍光灯器具が天井や照明器具などに

企業七ニター募集

なお、同社では、無料で設備の設置及び製品の提供を行うことで、「RE-Light」の効果を体感してもらうキャンペーンを行っている。問い合わせは食料新聞社まで。

「RE-Light」シリーズは、ドイツで開発された超高性能反射板を使用しているのが特徴だ。超高性能反射板の反射面には、チタン・シリコン等を用いたガラス状の物質がコーティングされており、可視光線の94%を全反射する。さらに、従来の蛍光灯器具が天井や照明器具などに

本社（長野）〒399-4511 長野県上伊那郡南箕輪村 6201-1
TEL/0265-71-8822 FAX/0265-71-8800

東京営業所 〒103-0004 東京都中央区東日本橋 2-1-6 東日本橋藤和ビル 2F
TEL/03-5833-8801 FAX/03-5833-8805

福岡営業所 〒812-0004 福岡県福岡市博多区榎田 1-8-31 榎木ビジネススクエア
TEL/092-433-8180 FAX/092-433-8182

<http://www.iz-inc.co.jp>



～省エネは未来の子供たちへの贈り物～

株式会社アイゼット

日経MJ新聞（平成 23 年 6 月 6 日付）掲載のお知らせ

平成 23 年 6 月 6 日付 日経MJ新聞にて、アイゼット製品の特性ならびにダイエーへの導入の事例が紹介されていますのでご案内致します。

反射板で明るさを維持

いという。

空調と並び、電力カットで抑制を求められる店内照明。発光ダイオード(LED)照明は導入コストがまだ高く、その足を踏む企業も少なくない。点灯する蛍光灯を減らして対応する店が多く

となるとみられるが、店内が薄暗くなってしまうのは、顧客は買物物の高揚感をそがれる。暗さを感じさせない工夫を凝らす仕掛けも必要だ。ダイエーは、特殊な反射板を使い蛍光灯を2本

から1本に減らしても明るさを維持できる照明装置を設置。天井の蛍光灯にかぶせるように用いて、上に逃げていた光を落とし、売り場を集中的に照らす仕組みだ。まず東大島店(東京・江東)など20店で試験導入し、さらに90店に広げる計画だ。消費電力は従来の半分に抑えられる。LED照明への切り替えに比べて初期コストが安

照明の「間引き方」を工夫、投資ゼロで顧客が感じる暗さを減らせるよう試みる企業もある。

本社(長野) 〒399-4511 長野県上伊那郡南箕輪村 6201-1
TEL/0265-71-8822 FAX/0265-71-8800

東京営業所 〒103-0004 東京都中央区東日本橋 2-1-6 東日本橋藤和ビル 2F
TEL/03-5833-8801 FAX/03-5833-8805

福岡営業所 〒812-0004 福岡県福岡市博多区榎田 1-8-31 榎木ビジネススクエア
TEL/092-433-8180 FAX/092-433-8182

週刊ビル経営（平成 23 年 6 月 20 日付）掲載のお知らせ

平成 23 年 6 月 20 日付 週間ビル経営にて、弊社反射板の特性、リライトシリーズと LED との比較等の記事が掲載されましたのでご案内致します。



代表取締役
林 邦男氏

アイゼット

低コストで LED に匹敵する高効率照明

当社の高性能反射板「リフラッシュ」は蛍光灯取り付け具に装着するだけで節電を可能にする製品です。ドイツ製の素材を使用した反射板は約 95% の反射

率で、装着すると単純計算ですが約 2 倍の明るさになり、2 本の蛍光灯を 1 本に減らすことが可能です。発売当初は店舗の集客や、事務所などでの作業効率アップなどを想定していましたが、最近では省エネ・節電のための導入がほとんどです。ランニングコストもかからず、最大 5 割の節電が可能です。一方の「スーパージョイント」は、反射板と蛍光灯を一体化させた照明器具です。使用する蛍光灯の寿命は LED 照明に匹敵する約 4 万 5 000 時間。ランニングコストも LED 照明並みですが、インシャルコストは一般的な LED 照明の約半分です。反射板にはグレア（眩しさを抑えながら鏡面タイプと同等の反射率を実現するマット加工）を施し、自然な光が拡がります。いずれも蛍光管を減らすことで発熱量を抑えられるため、冷房効率を上げることが期待できます。

「スーパージョイント」は、反射板と蛍光灯を一体化させた照明器具です。使用する蛍光灯の寿命は LED 照明に匹敵する約 4 万 5 000 時間。ランニングコストも LED 照明並みですが、インシャルコストは一般的な LED 照明の約半分です。反射板にはグレア（眩しさを抑えながら鏡面タイプと同等の反射率を実現するマット加工）を施し、自然な光が拡がります。いずれも蛍光管を減らすことで発熱量を抑えられるため、冷房効率を上げることが期待できます。

本社（長野）〒399-4511 長野県上伊那郡南箕輪村 6201-1
TEL/0265-71-8822 FAX/0265-71-8800

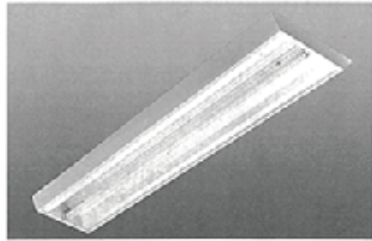
東京営業所 〒103-0004 東京都中央区東日本橋 2-1-6 東日本橋藤和ビル 2F
TEL/03-5833-8801 FAX/03-5833-8805

福岡営業所 〒812-0004 福岡県福岡市博多区榎田 1-8-31 榎木ビジネススクエア
TEL/092-433-8180 FAX/092-433-8182

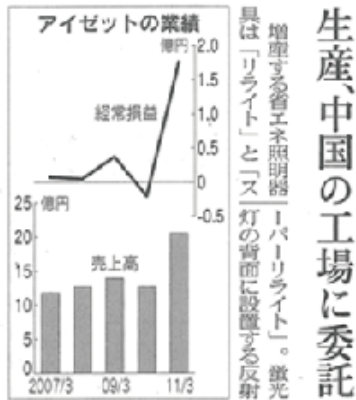
日経産業新聞（平成 23 年 7 月 4 日付）掲載のお知らせ

平成 23 年 7 月 4 日付 日経産業新聞にて、弊社反射板の特性、リライトシリーズとLEDとの比較等の記事が掲載されましたのでご案内致します。

蛍光管1本でも明るさ維持



アイゼットの「リライト」は蛍光灯をこれまでの2本から1本に減らした



照明器具の製造・販売のアイゼット（長野県南箕輪村、林邦男社長）は8月から蛍光灯を使った省エネ効率の高い照明器具の増産に乗り出す。蛍光灯を使う分、価格を蛍光灯ダイオード（LED）照明の3分の1程度に抑えられるのが特徴で、東日本大震災後に節電志向を背景に、スーパーやオフィスビルから受注が急増していることに対応する。8月からこれまでの2・5倍の月2万5000口の規模に生産を拡大、将来的には20億～30億円の売上高を目指す。

省エネ照明器具を増産

アイゼット 光反射率、94%に向上

板の表面にチタンやシリコンなどを蒸着させ光の反射率をこれまでの40～50%から94%にまで高めることで消費電力の低減化を可能にした。

蛍光管2本セットの照明器具を1本に減らしてもほぼこれまで同様の明るさを維持でき、その分、照明の消費電力も半減できる。価格も1口あたり1万～4万円で大規模な改修が必要なく、投資コストはLED照明に比べ大幅に低い。

アイゼットはこれまで月1万口の規模で省エネ照明器具を生産してきた。震災後、電力不足に伴い15%の消費電力削減を要請された企業からの問い合わせが急増。大手スーパーのダイエーからも90店舗で受注を受けるなど、需要が拡大しつつある。

アイゼットは開発・試作に特化しているため、省エネ器具の生産は外部の工場に委託している。8月から中国で生産を委託している工場を増産規模を拡大するほか、国内の工場でも委託生産先を高いと判断した。同社の2011年3月期の売上高は20億5184万円だった。

LEDの発売が急増するなど、省エネ照明の市場は急速に拡大している。ただ、アイゼットが開発した蛍光灯組み込み型の省エネ照明器具はLED照明に比べると価格も安い。競争力は高いと判断した。同社の2011年3月期の売上高は20億5184万円だった。

本社（長野）〒399-4511 長野県上伊那郡南箕輪村 6201-1
 TEL/0265-71-8822 FAX/0265-71-8800
 東京営業所 〒103-0004 東京都中央区東日本橋 2-1-6 東日本橋藤和ビル 2F
 TEL/03-5833-8801 FAX/03-5833-8805
 福岡営業所 〒812-0004 福岡県福岡市博多区榎田 1-8-31 榎木ビジネススクエア
 TEL/092-433-8180 FAX/092-433-8182

食料新聞（平成 23 年 7 月 4 日付） 掲載のお知らせ

平成 23 年 7 月 4 日付 食料新聞にて、(株)ダイエー様の省エネ施策における弊社の照明器具導入についての記事と、アイゼット社の記事が掲載されましたのでご案内致します。



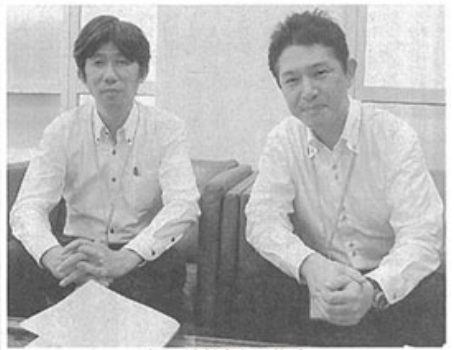
この人に聞く

「省エネは想定内です。」
とどのような節電対策をして
いますか。
「弊社は今年前より「省エネ」の導入を進めてまいりました。現在はほぼ店舗で同じシステムを用いた省エネ活動を行っております。」
「省エネは想定内です。」
とどのような節電対策をして
いますか。
「弊社は今年前より「省エネ」の導入を進めてまいりました。現在はほぼ店舗で同じシステムを用いた省エネ活動を行っております。」

高性能反射板は非常に優れた機材

「省エネは想定内です。」
とどのような節電対策をして
いますか。
「弊社は今年前より「省エネ」の導入を進めてまいりました。現在はほぼ店舗で同じシステムを用いた省エネ活動を行っております。」
「省エネは想定内です。」
とどのような節電対策をして
いますか。
「弊社は今年前より「省エネ」の導入を進めてまいりました。現在はほぼ店舗で同じシステムを用いた省エネ活動を行っております。」

株式会社ダイエー
総務人事本部
管理・環境ISO推進部長 **福田啓三氏**
同部署
ビルメンテナンス課 **石井正人氏**



福田氏(左)と石井氏

毎日の節電対策

1	空調の温度設定を適切に保ち、冷房・暖房の稼働時間を短縮する。
2	照明の点灯時間を短縮し、自然光を活用する。
3	省エネ型照明器具の導入を進め、照明の効率を向上させる。
4	照明器具の点検・清掃を行い、効率を維持する。
5	照明器具の設置位置を適切に調整し、無駄な光を減らす。
6	照明器具の寿命を延ばすために、適切な点検と保守を行う。
7	照明器具の購入時に省エネ性能を確認し、高効率な製品を選ぶ。
8	照明器具の設置場所を適切に選定し、光の反射率を高める。
9	照明器具の設置高さを適切に調整し、光の届き方を最適化する。
10	照明器具の設置角度を適切に調整し、無駄な光を減らす。

年間消費電力65.7%削減 アイゼット

「省エネは想定内です。」
とどのような節電対策をして
いますか。
「弊社は今年前より「省エネ」の導入を進めてまいりました。現在はほぼ店舗で同じシステムを用いた省エネ活動を行っております。」
「省エネは想定内です。」
とどのような節電対策をして
いますか。
「弊社は今年前より「省エネ」の導入を進めてまいりました。現在はほぼ店舗で同じシステムを用いた省エネ活動を行っております。」



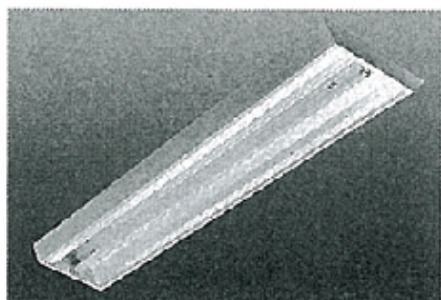
(Super RE-Light)

「省エネは想定内です。」
とどのような節電対策をして
いますか。
「弊社は今年前より「省エネ」の導入を進めてまいりました。現在はほぼ店舗で同じシステムを用いた省エネ活動を行っております。」
「省エネは想定内です。」
とどのような節電対策をして
いますか。
「弊社は今年前より「省エネ」の導入を進めてまいりました。現在はほぼ店舗で同じシステムを用いた省エネ活動を行っております。」

本社(長野) 〒399-4511 長野県上伊那郡南箕輪村 6201-1
TEL/0265-71-8822 FAX/0265-71-8800
東京営業所 〒103-0004 東京都中央区東日本橋 2-1-6 東日本橋藤和ビル 2F
TEL/03-5833-8801 FAX/03-5833-8805
福岡営業所 〒812-0004 福岡県福岡市博多区榎田 1-8-31 榎木ビジネススクエア
TEL/092-433-8180 FAX/092-433-8182

日本経済新聞（平成 23 年 7 月 8 日付）掲載のお知らせ

平成 23 年 7 月 8 日付 日本経済新聞（長野版）にて、弊社の照明器具についての記事が掲載されましたのでご案内致します。



照明器具製造・販売のアイゼット（南箕輪村、林邦男社長）は8月から蛍光灯タイプの省エネ照明器具の増産に乗り出す。蛍光灯1本で2本分の明るさを実現した製品について、中国などでの生産委託を拡大する。これまで月1万1千程度の生産を2・5倍に増やし、

省エネ照明

蛍光灯タイプ増産

アイゼット 委託拡大、月2.5万セット

東日本大震災後に広がる需要を取り込む。

増産するのは高効率な

反射板を使った省エネ照

明器具「リライト」と長

寿命照明を使用した「ス

ーパーリライト」の2製

品。表面を特殊加工し、

複雑な形状に折り曲げた

アルミ製反射板を蛍光灯

の背面に設置、光の反射

率を94%まで高めた。従

来製品は60%程度になっ

ている。

アイゼットは生産を外

部の工場に委託してい

る。8月から委託先の中

リライトは1本で2本分の明るさを実現している

国の工場で生産規模を拡大するほか、現在3社程度の国内生産の委託先も増やす方針だ。月産2万5000セットを供給できる体制をとる。

は蛍光灯を使う分、価格を蛍光ダイオード（LED）照明の3分の1程度に抑えることができることが特徴。大手スーパーのダイエーからは約90店舗で受注するなど、「需要はこれまでにないペースで急増している」（営業推進企画室）。生産体制を拡充し、需要を取りこぼさない体制をとる方針。

本社（長野）〒399-4511 長野県上伊那郡南箕輪村 6201-1
TEL/0265-71-8822 FAX/0265-71-8800

東京営業所 〒103-0004 東京都中央区東日本橋 2-1-6 東日本橋藤和ビル 2F
TEL/03-5833-8801 FAX/03-5833-8805

福岡営業所 〒812-0004 福岡県福岡市博多区榎田 1-8-31 榎木ビジネススクエア
TEL/092-433-8180 FAX/092-433-8182



～省エネは未来の子供たちへの贈り物～

株式会社 アイゼット

商業施設新聞（平成 23 年 7 月 12 日付） 掲載のお知らせ

平成 23 年 7 月 12 日付 商業施設新聞にて、弊社の照明器具についての記事が掲載されましたのでご案内致します。



カテゴリー新さっぽろの導入例

アイゼット Hf 蛍光灯による省エネ化

高性能反射板で大幅節電

(株)アイゼット（東京営業部）東京都中央区東日本橋2-1-6、☎03-5833-8801は、オーダーメイドで反射率95%の反射板付き照明器具を販売している。照明器具メーカーだ。低コストで2灯付き蛍光灯器具を同じ明るさで1灯に減らすことができ、店舗照明の省エネ化に貢献している。LED照明の拡大期ながらも、

く、Ra値も高い。また、LED照明並みの長寿命光源を採用している製品もあり、メンテナンスコストも削減できる。LEDが著しく進化を遂げる昨今だが、導入コストが課題とされている。同社の製品であれば、導入コストを3分の1に減らすことができる。店舗照明の省エネ化に積極的な小売業界、外食業界での採用が進

2010年度は前年比50%の伸びを実現した。

同社の製品は、器具に高効率の反射板を採用することで、照度を倍近く上げるといってもいい。蛍光灯用であれば2灯用器具を採用していた場所でも、同じ明るさで1灯用器具に変更できる。従来照明を利用するため明かりの質も問題な

んでおり、タイエーでは10年度に24店へ納入、11年度も91店に納入する計画。このほかにも、関東・東北のイオンファンタジー60店（2300台）や、すかいらーく全店で採用されている。

また、工場などの高天井でも利用可能で、4灯用器具は400Wの水銀灯と同等の照度環境を作る。外資系スポーツメーカーの物流工場などで使われており、8m程度の高さにも対応可能で、水銀灯と違いスムーズに点灯ができる。

ももとはリニューアルを専門に行っていたが、コブサイたまなど、新店で標準採用する店舗も出てきている。こうした採用事例が大幅に増加していることから、11年度は少なくとも前年比50%以上の伸びを見込んでおり、将来的には蛍光灯の代わりにLED照明を光源とすることも検討している。

本社（長野） ☎399-4511 長野県上伊那郡南箕輪村 6201-1
TEL/0265-71-8822 FAX/0265-71-8800

東京営業所 ☎103-0004 東京都中央区東日本橋2-1-6 東日本橋藤和ビル2F
TEL/03-5833-8801 FAX/03-5833-8805

福岡営業所 ☎812-0004 福岡県福岡市博多区榎田1-8-31 榎木ビジネススクエア
TEL/092-433-8180 FAX/092-433-8182

福島第一原発事故による電力供給不足に対応した夏の節電対策実施にともない、いま省エネ製品やサービスなどが話題だ。

例えば、今夏に企業が消費電力削減15%を迫られる中で、蛍光灯1本で2本分の明るさが得られる高性能照明器具が注目を集めている。長野県南宮輪村に本拠を置く、省エネ照明機器の専業メーカーであるアイゼットの「RE-light」（リライト）など、環境志向の製品群がそれだ。今回の東日本大震災以降、節電対策を進める全国の企業から、多数の引き合いが相次いでいるという。

同社のRE-lightなど次世代照明機器は、従来の白色塗装蛍光灯照明器具の光反射率が約60%であるのに対し、94%という超高性能反射板を採用している。アルミ母材に、チタン・シリコンなどのPVD物理蒸着コーティングを施し、入射した可視光線のほとんどを吸収することなく反射できる。

さらに、蛍光管から発する光を最高効率で反射させる反射角を光学設計し、折り目を入れることで驚異的な照度アップを導き出している。

東北電力・東京電力管内に限らず、全国各地から引き合いを受けており、業種や設置場所・用途も多岐にわたっている。同

節電対策で省エネ製品・サービスに注目

社は需要に応えるため、8月以降は従来の約2・5倍となる増産体制を構築した。

また、三菱電機は独自の「オフィスビル省エネシミュレーション技術」を適用した省エネ実証評価を、同社の情報技術総合研究所（神奈川県鎌倉市）で7月1日から開始した。評価期間は9月までの予定だ。

この省エネシミュレーション技術は、ビル内で働いている職員の座席位置と在不在を考慮した照明制御による省エネ効果と、ビルの熱特性や発熱量を過去データから推測して空調機を制御する省エネ効果を、それぞれシミュレーションするもの。

実証評価では、ビル全体の総電力量を精度良く予測し、ピーク時電力量を設定値以下に保つ対策をはかることで、適切な照明、空調制御に加え、パソコン向け省エネ制御により効率的エネルギー利用を実現する。

2本分の明度実現の照明 省エネシミュレーション エネルギー見える化など

術総合研究所では、夏期節電対策の一環として、構内の複数ビルに分散していた職員を1棟に集約。そこに「オフィスビル省エネシミュレーション技術」を適用し、構内全体のピーク時電力消費量25%削減を目指す。職員を集約したビルは、職員数が

昨年500人に比べて2・4倍の200人に増加する。しかし、ビル全体のピーク時電力は昨年並みに制御できると予測している。

日本IBMとエクサは、工場やオフィスのエネルギー関連データを定期的に収集・算出して可視化する、製造向け「エネルギー見える化ソリューション」を、7月5日から提供開始

同ソリューションの最大の特徴は、製造業向けの専用テンプレートを用意しているため、最短3週間でシステム構築できることだ。

また、工場やオフィスに設置された電力量計、BEMS（ビルエネルギー管理システム）、FEMS（工場エネルギー管理システム）などの環境エネルギー情報収集装置からデータを収集し、電力使用状況の見える化を実現する。施設やフロアごとに、きめ細かい単位で電力使用実績を算出し、レポート形式やグラフで表示できるため、電力削減施策の有効性を検証したり、次のアクション・プラン策定に役立つ。

そのほか、自然エネルギー利用も話題だ。IDCフロンティアは、風力・太陽光発電によるハイブリッド型の街路灯を、西日本の大型拠点である福岡県北九州市のデータセンター「アジアン・フロンティア」に9月末から設置する。

同センターは、国内で初めて大規模な外気空調方式を採用した商用大型データセンターとして、約2年半の運用実績がある環境対応型データセンターである。今回は、9月末に竣工予定の3号棟に合わせ、データセンター管理棟のエントランス正面に、風力と太陽光で発電して蓄えた電力をバッテリーから供給するLED照明のハイブリッド街路灯を3基設置し、すでに稼働中の外気空調やサーバー排熱利用の温室に加え、新たに自然エネルギーを導入することにした。

日本経済新聞(長野版) (平成 23 年 10 月 18 日付) 掲載のお知らせ

平成 23 年 10 月 18 日付 日本経済新聞(長野版)にて、弊社についての記事が掲載されましたのでご案内いたします。



地方でも営業攻勢をかける (同社製品を導入したスーパー)

アイゼット

省エネ照明、代理店2倍

手薄な中部・関西を開拓

照明器具開発・販売のアイゼット(南箕輪村、林邦男社長)は蛍光灯を使う省エネルギー照明設備の販売網を拡大する。手薄だった中部や関西などで代理店を開拓し、1〜2年で現在の2倍に増やす。発光ダイオード(LED)照明に比べ3分の1程度で導入できる利点を訴えかけ、地方スーパーなどに売り込む。

蛍光灯使い割安に

現在約80社の代理店は6割近くが東京都に集中するなど、自社拠点のある都内と九州が中心で、大手企業に向けた営業活動に力を注いできた。中部、関西などの代理店を開拓し、160社まで増やす。「市場を見ながら各県に3〜4社程度の代理店を持ちたい」(林社長)。代理店向けのセミナーや研修も増やす。拡販する製品は、蛍光灯の背面に設置する反射板の表面を特殊加工し、複雑な形状に折り曲げて光を効率よく広い範囲に届ける部品や蛍光灯などを組み合わせた省エネ照明設備。「リライト」と「スーパーリライト」といった商品で、蛍光灯1本で2本分の明るさを確保するため、消費電力は半減できるという。通常の蛍光灯を使うことで、LED灯に比べ全体の導入費用は3分の1〜4分の1程度に抑えられる。東日本大震災後の電力

不足や省エネ意識の高まりを受け、ダイエーの店舗や大手企業の本社に導入されるなど受注が急拡大。2012年3月期には前年度比4割増の30億円を見込む。省エネ型照明器具の導入は地方のスーパーや中小企業にも広がってきており、アイゼットは割安さを武器に地方での需要も獲得する狙い。8月には生産能力を2.5倍に増やした。県内の照明販売他社も

広がる需要を取り込もうとのクオンタムリープテック(塩尻市、小川ノロジ)代理店網を構築する方針だ。洋史社長)も北海道や九州など手薄だった地域で